

**臨床福祉専門学校**  
**理学療法学科 平成 26 年度 第一回学校関係者評価委員会 議事録**

日時：平成 27 年 3 月 24 日（火） 19：00～20：00

場所：臨床福祉専門学校 3F 会議室

出席委員及び所属

中村 岳雪（東京都理学療法士協会理事）  
下河辺 雅也（山田記念病院 技師長）  
石垣 栄司（臨床福祉専門学校 理学療法学科学科長）  
神田 太郎（臨床福祉専門学校 理学療法学科副学科長）  
萬崎 保志（臨床福祉専門学校 事務次長）  
樋口 豊朗（臨床福祉専門学校 事務主任）

（意見交換）

「平成 26 年度の改善点について」

過去の委員会でも議題として話が上がった、外部委員会の自己評価報告書に対する評価の難しさを踏まえて、特定の項目をピックアップし意見交換を行った。

**基準 5 「学生支援について」の項目の趣旨説明**

**基準 9 法令等の遵守の趣旨説明**

- ・保護者との連携⇒学生の成績・出席の状況の通知。  
平成 27 年度の課題の一つとして扱う
- ・スポーツ大会  
各学科の学科歴を調整して、実施する事が課題
- ・新入生歓迎会  
学生～教員・学生～学生のコミュニケーションを持つ事が目的
- ・学生相談室  
学生～臨床心理士におけるサポートの場
- ・倫理委員会の設置  
学生及び教職員が円滑に学術活動を行う。

(意見交換)

- ・ 学生とのコミュニケーション（新入生歓迎会）について学業から離れた場で行う事は良い。教職員～学生との接点を持つことが出来る。（中村委員）
- ・ 入学時の歓迎会で、学生間だけでなく教職員とのコミュニケーションの場を持てるのは今後の学業を行う上で非常に良い。（下河辺委員）
- ・ スポーツ大会だと会話より球技に集中してしまうので、別の場を設ける方が良い。また、学生間の年齢の差があるので、学生の参加に疑問（中村委員）
- ・ 現在進行形で動いている情報（学校の目標・企画している内容等）を逐一学生に知らせる事が重要（中村委員）

※「学校関係者委員会の改編についての趣旨説明」

平成 26 年度任期は今回の委員会で終了となる。

平成 27 年度以降については学科別であった三委員会を一つに集約する。

学科別の評価ではなく学校の全体評価として取り行う。

- ・ 卒業生なので、評価するという点で解りやすい点があった。地域代表や非常勤講師の意見を求める際の難しさがあるのではないか（下河部委員）
- ・ 二委員会（教育課程・学校関係者評価）の明確な分け方ができていない。それぞれの委員会でより具体的な中身を固めた方が、特に地域代表・業界代表の委員には理解しやすいと思う。（中村委員）

⇒地域代表・業界代表の委員には学校の施設の見学等も検討するとともに、どういう視点で評価してもらうか検討する必要がある。